

ちばぎんコア投資ファンド(安定型)

<愛称 ちばぎんラップ・ファンド(安定型)>

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第1期(決算日2016年7月11日)

作成対象期間(2015年7月31日～2016年7月11日)

第1期末(2016年7月11日)	
基準価額	9,226円
純資産総額	6,303百万円
第1期	
騰落率	△7.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択し、該当のファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ちばぎんコア投資ファンド(安定型)」は2016年7月11日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券、新興国株式、新興国債券、国内リート、海外リート、バンクローン、コモディティ、ヘッジファンド及びその他の様々な資産を実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資しました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

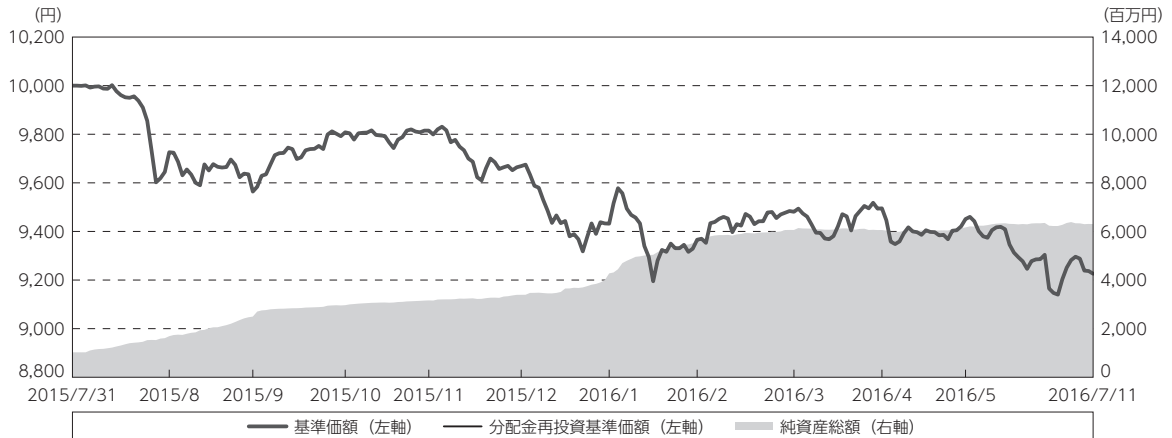
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

ホームページ：<http://www.chibagin-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年7月31日～2016年7月11日)



設定日：10,000円

期 末：9,226円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 7.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	投資資産	当作成対象期間末 組入比率	騰落率
F0Fs用 JPX日経インデックス400ファンドS (適格機関投資家専用)	国内株式	3.6%	-25.8%
F0Fs用 日本株配当ファンドS (適格機関投資家専用)	国内株式	0.6%	-24.2%
F0Fs用国内株式エンハンスト運用戦略ファンド (適格機関投資家専用)	国内株式	1.8%	-26.3%
F0Fs用 国内債券インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	国内債券	4.1%	8.1%
F0Fs用 日本物価連動国債ファンドS (適格機関投資家専用)	国内債券	2.7%	-1.3%
F0Fs用 世界ハイインカム入替戦略ファンドS (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) *	国内債券	16.5%	7.0%
HYFI Loan Fund - JPY-USDクラス*	国内債券	4.1%	1.2%
F0Fs用 外国株式インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	先進国株式	6.1%	-22.1%
F0Fs用 外国債券インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	先進国債券	5.0%	-14.4%
大和住銀/ウエリントン・ワールド・ボンド (適格機関投資家専用)	先進国債券	2.1%	-16.4%
F0Fs用 新興国株式セレクト・ファンドS (適格機関投資家専用)	新興国株式	2.1%	-25.2%
F0Fs用 新興国債券セレクト・ファンドS (適格機関投資家専用)	新興国債券	3.4%	-20.7%
F0Fs用 J-REITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	国内リート	2.9%	6.4%
F0Fs用 グローバルREITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	海外リート等	1.3%	-9.8%
F0Fs用 MLPインデックスファンド (適格機関投資家専用)	海外リート等	0.7%	-33.8%
F0Fs用 グローバル・コモディティ (米ドル建て)・ファンドS (適格機関投資家専用)	コモディティ	1.0%	-24.4%
TCAファンド (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	4.2%	-0.5%
F0Fs用 FRM シグマ・リンク・ファンドS (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	2.1%	-1.1%
ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	6.3%	-2.9%
Global Absolute Return Strategies Fund-Class D ^{AH,JPY}	ヘッジファンド	8.1%	-6.0%
F0Fs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	8.2%	-5.7%
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	ヘッジファンド	4.2%	-4.1%
F0Fs用 KIM マルチストラテジー リンクファンドS (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	2.0%	-2.9%
F0Fs用 ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	2.1%	-1.0%
F0Fs用 MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	2.0%	-6.0%
マルチ・ストラテジー・ファンド (適格機関投資家専用)	ヘッジファンド	2.0%	-2.3%

※為替ヘッジを行うことで為替リスクの低減を図っているため、当ファンドにおいては国内債券に分類しています。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は当ファンドへの組入日からのものです。

(注) 騰落率は分配金再投資ベースです。

当ファンドの基準価額は、当期末において9,226円となり、当期のリターンは7.7% (信託報酬控除後)のマイナスとなりました。

国内債券や国内リートがプラスに寄与したものの、その他の投資資産についてはマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2015年7月31日～2016年7月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	124	1.290	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(78)	(0.809)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.430)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.051)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	124	1.295	
期中の平均基準価額は、9,584円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

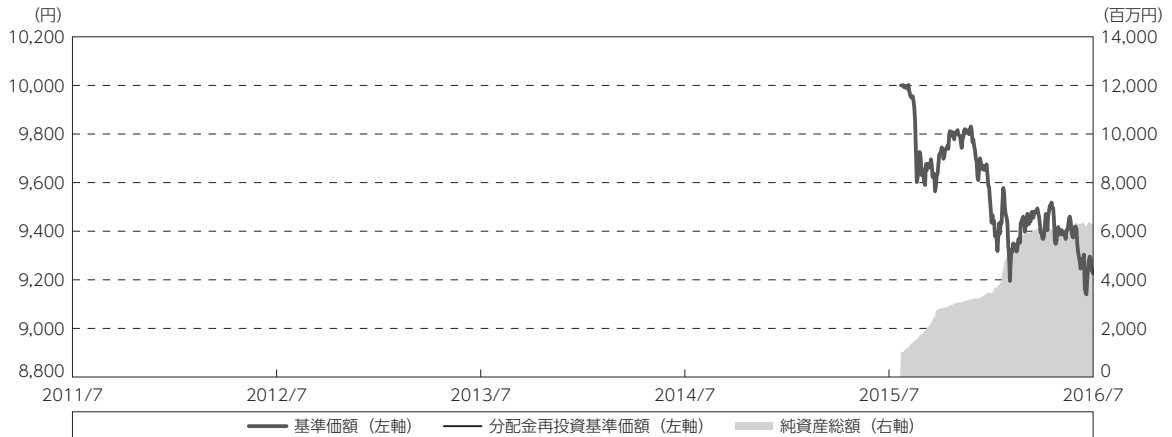
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年7月11日～2016年7月11日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2015年7月31日です。

	2015年7月31日 設定日	2016年7月11日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,226
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.7
純資産総額 (百万円)	1,025	6,303

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年7月11日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2015年7月31日～2016年7月11日)

国内株式市場

2015年8月のチャイナショックから下落した市場は、中国の財政・金融の政策対応等や先進国の金融緩和策を受け、年末に向け持ち直す動きとなりました。2016年年初からは、原油価格の急落、地政学的リスクの高まり、円高進行などを背景に再び下落局面となりましたが、2月の上海G20で各国の政策協調が確認されたことを機に反発に向かいました。その後、6月に英国がEU離脱を決めた国民投票の前後では、短期的にリスク回避の円買が進み、国内株式市場も乱高下する展開となりました。

国内債券市場

日銀の国債買い入れから良好な需給環境が続くなか、チャイナショック以降は景気減速懸念も加わり債券利回りは低下（債券価格は上昇）基調で推移しました。2016年1月に日銀がマイナス金利政策を導入した後は、急ピッチで金利低下が進み、英国のEU離脱を問う国民投票前後では、リスク回避の動きから、利回りは一段と低下しました。

先進国株式市場

2015年8月のチャイナショックから下落した市場は、中国の財政・金融の政策対応等や先進国の金融緩和策を受け、年末に向け持ち直す動きとなりました。2016年年初からは、原油価格の急落、地政学的リスクの高まり、米国経済の減速懸念等から、再び下落局面となりましたが、2月の上海G20で各国の政策協調が確認されたことを機に反発に向かいました。その後、6月に英国がEU離脱を決めた国民投票の前後ではリスク回避の動きから、市場は乱高下の動きとなりましたが、FRBの早期利上げ観測の後退や欧州・日本の追加金融緩和期待から、持ち直す展開となりました。

先進国債券市場

2015年年末までは、欧米の金融政策の方向性の違いや各国の経済指標などをにらみ債券利回りは概ねもみ合いで推移しました。2015年12月には米国が9年ぶりの利上げを実施しましたが、2016年に入ると中国や新興国の景気減速が先進国まで波及するリスクが認識され、利回りの低下が進みました。さらに、英国のEU離脱の是非を問う国民投票でEU離脱派が勝利した後は、英国・欧州の景気減速懸念やリスク回避の債券買いの動きから、利回りは一段と低下しました。

新興国株式市場

2015年8月以降、原油価格の下落や中国経済の減速懸念、米国の利上げ局面における資金流出リスクが強く意識され、新興国株式は大きく調整しました。2016年年明け以降も、先進国株式と同様に再び下げ幅を拡大しましたが、2月の上海G20以降、ドル安傾向が強まる中で資金流出懸念が後退し、原油価格も回復基調となったことから、新興国株式・通貨ともに大きく値を戻す展開となりました。

新興国債券市場

当期の前半は、中国の景気減速や原油安などを背景にリスク回避姿勢が強まったことや、米国の利上

げ観測から、新興国債券利回りは上昇しました。2016年2月の上海G20以降、ドル安傾向が強まる中で資金流出懸念が後退し、債券利回りは低下基調で推移しました。当期末にかけては、英国での国民投票の結果を受けてリスク回避姿勢の強まりから利回りが上昇する場面も見られましたが、米国の利上げ観測が後退したことや、先進国の金利低下が進むなか、新興国債券の利回りの高さが意識され、底堅く推移する展開となりました。

国内リート市場

当期初はチャイナショックによるリスク回避姿勢の強まりから大きく下落しましたが、その後は国内金利の低下を背景に、期を通して概ね上昇基調を辿りました。2016年1月に入ると、原油価格の下落等から再びリスク回避姿勢が強まり下落する局面もありましたが、日銀がマイナス金利政策の導入を決定したことを受けて長期金利が一段と低下すると、配当利回りなどに着目した買いが優勢となり上昇しました。6月以降は、英国でのEU離脱の是非を問う国民投票の結果を受けてリスク回避姿勢が強まり、やや軟調に推移する展開となりました。

海外リート市場

当期初より中国の景気減速懸念や原油安などを背景とする株式市場の下落などの影響を受け、上値の重い展開が続きました。2016年2月以降は、FRBによる追加利上げペースが当初の想定よりも緩やかになるとの見方が広がったことや、ECBによる追加金融緩和などを背景に欧米金利が低位で推移したことを好感し、上昇する展開となりました。

MLP市場

当期の前半は米国における原油在庫の増加やOPEC（石油輸出国機構）による生産目標設定の先送りなどを背景に原油価格が下落したことからMLP市場も軟調に推移しました。2016年3月以降は原油市場における供給過剰感が徐々に解消したことを背景に原油価格が反転したことを受けて、MLP市場も持ち直す展開となりました。

バンクローン市場

当期前半は、中国の景気減速から世界的にリスク回避姿勢が強まったことや、原油価格の下落から、格付の低い企業やエネルギー関連企業に対する売り圧力が強まり、全般的に軟調な展開となりました。2016年3月に入ってから、エネルギー価格の回復や、国債金利低下による需給改善などを背景にバンクローン市場も持ち直す展開となりました。

コモディティ市場

中国の景気減速懸念から資源価格全般が下落したことや、米国の原油在庫の増加、OPECによる減産の見送りから特に原油価格が下落したことから、コモディティ市場は2016年1月にかけて下落しました。2月以降は産油国による増産凍結への期待や原油市場の供給過剰感の解消に加え、リスク回避姿勢が強まるなか安全資産としての金が堅調に推移したことなどから持ち直す展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年7月31日～2016年7月11日)

○当ファンド

国内外の株式・債券といった様々な資産に分散投資し、投資対象ファンドのリスク・リターン特性を踏まえ、これらをうまく組み合わせることで中長期的に安定した収益の獲得を目指しポートフォリオの組成を行いました。また、デリバティブを含めた様々な投資対象及び投資戦略を駆使するヘッジファンド等を組み入れることで短期的な下振れリスクの抑制が期待できるポートフォリオの構築も意識しファンド運営を行いました。

○FOFs用 KIM マルチストラテジー リンクファンドS (適格機関投資家専用)

「ヘッジファンド」内の投資割合の見直しに伴い新規に組み入れを行い、当期末時点における組入比率は2.0%となりました。

○FOFs用 ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS (適格機関投資家専用)

「ヘッジファンド」内の投資割合の見直しに伴い新規に組み入れを行い、当期末時点における組入比率は2.1%となりました。

○FOFs用 M A N A H L ダイバーシファイド リンクファンドS (適格機関投資家専用)

「ヘッジファンド」内の投資割合の見直しに伴い新規に組み入れを行い、当期末時点における組入比率は2.0%となりました。

○マルチ・ストラテジー・ファンド (適格機関投資家専用)

「ヘッジファンド」内の投資割合の見直しに伴い新規に組み入れを行い、当期末時点における組入比率は2.0%となりました。

ちばぎんコア投資ファンド(安定型) <愛称 ちばぎんラップ・ファンド(安定型)>

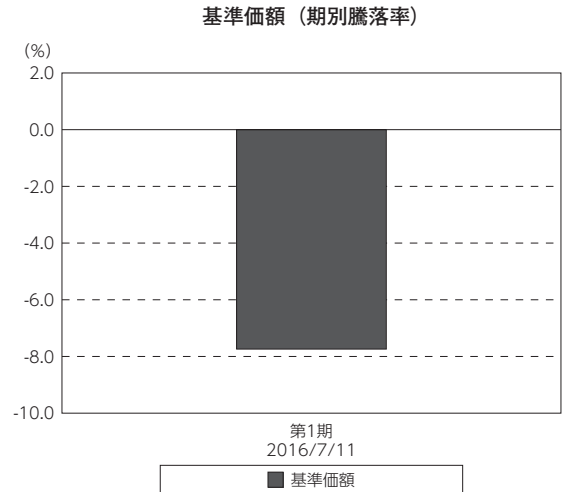
組入ファンド	当期末
FOFs用 JPX日経インデックス400ファンドS(適格機関投資家専用)	3.6%
FOFs用 日本株配当ファンドS(適格機関投資家専用)	0.6%
FOFs用 国内株式エンハンスド運用戦略ファンド(適格機関投資家専用)	1.8%
FOFs用 国内債券インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	4.1%
FOFs用 日本物価連動国債ファンドS(適格機関投資家専用)	2.7%
FOFs用 世界ハイインカム入替戦略ファンドS(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	16.5%
HYFI Loan Fund - JPY-USDクラス	4.1%
FOFs用 外国株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	6.1%
FOFs用 外国債券インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	5.0%
大和住銀/ウエイリントン・ワールド・ボンド(適格機関投資家専用)	2.1%
FOFs用 新興国株式セレクト・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.1%
FOFs用 新興国債券セレクト・ファンドS(適格機関投資家専用)	3.4%
FOFs用 J-REITインデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.9%
FOFs用 グローバルREITインデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	1.3%
FOFs用 MLPインデックスファンド(適格機関投資家専用)	0.7%
FOFs用 グローバル・コモディティ(米ドル建て)・ファンドS(適格機関投資家専用)	1.0%
TCAファンド(適格機関投資家専用)	4.2%
FOFs用 FRM シグマ・リンク・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.1%
ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	6.3%
Global Absolute Return Strategies Fund-Class D ^{A,H,JPY}	8.1%
FOFs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS(適格機関投資家専用)	8.2%
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	4.2%
FOFs用 KIM マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%
FOFs用 ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	2.1%
FOFs用 MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%
マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)	2.0%

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年7月31日～2016年7月11日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2015年7月31日～2016年7月11日)

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	2015年7月31日～ 2016年7月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として、国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券、新興国株式、新興国債券、国内リート、海外リート、バンクローン、コモディティ、ヘッジファンド及びその他の様々な資産を実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資します。

各資産及び各投資対象ファンドへの投資割合は、各資産の期待リターンやリスク、各資産間の相関係数、各投資対象ファンドのリターン・リスク特性等をもとに決定します。各資産及び各投資対象ファンドへの投資割合は定期的な見直しを行うほか、市場環境等に応じて調整を行います。また適宜リバランスを行います。なお、全ての資産及び投資対象ファンドに投資するとは限りません。

投資対象ファンドについては、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資対象ファンドとして定められていた投資信託証券が投資対象ファンドから除外されたり、新たな投資信託証券が投資対象ファンドとして定められることがあります。

お知らせ

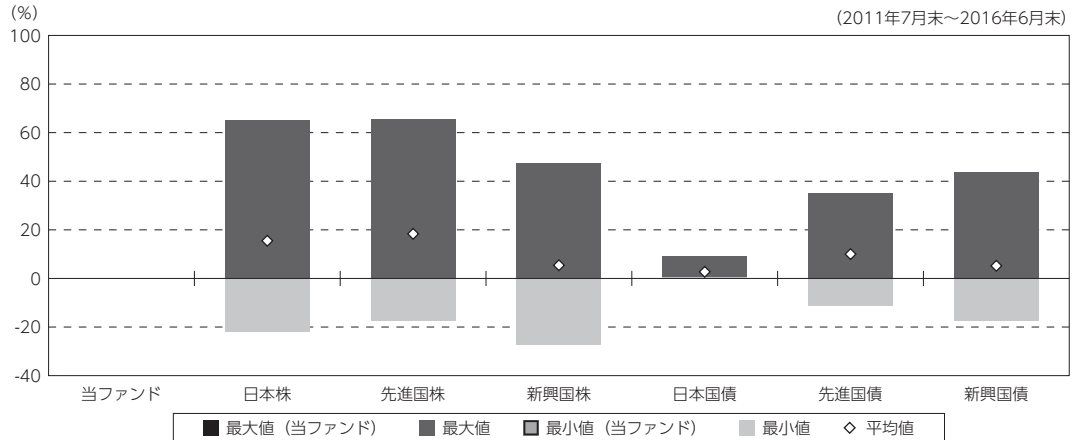
投資対象とする投資信託証券を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日：2016年1月20日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2015年7月31日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券、新興国株式、新興国債券、国内リート、海外リート、バンクローン、コモディティ、ヘッジファンド及びその他の様々な資産を実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資します。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	-	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.4	△ 11.2	△ 17.4
平均値	-	15.5	18.4	5.4	2.7	10.0	5.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年7月から2016年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年7月11日現在)

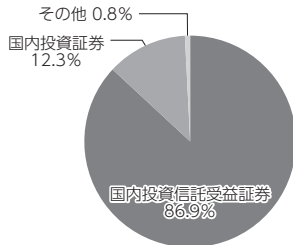
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第1期末
	%
FOFs用 世界ハイクム入替戦略ファンドS (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	16.5
FOFs用 FRMダイバーシファイド・リンク・ファンドS (適格機関投資家専用)	8.2
Global Absolute Return Strategies Fund-Class D ^{A,H,JPY}	8.1
その他	66.4
組入銘柄数	26銘柄

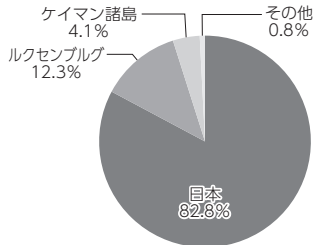
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

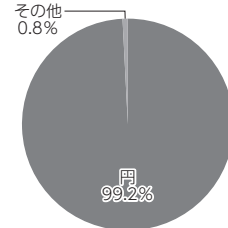
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券及び国内投資証券には外国籍(邦貨建)の証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

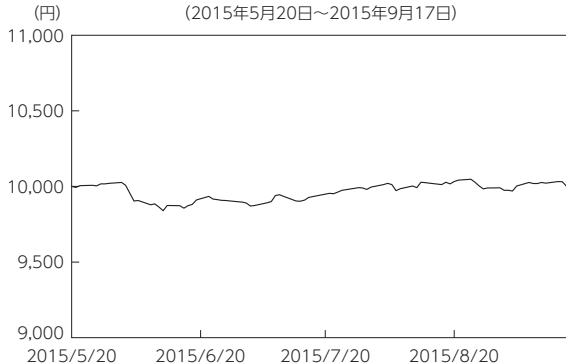
項 目	第1期末
	2016年7月11日
純資産総額	6,303,780,552円
受益権総口数	6,832,661,306口
1万口当たり基準価額	9,226円

(注) 期中における追加設定元本額は6,481,619,827円、同解約元本額は674,587,008円です。

組入上位ファンドの概要

FOFs用 世界ハイインカム入替戦略ファンドS (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと
として当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2015年5月20日～2015年9月17日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	6 (5) (0) (1)	0.064 (0.050) (0.004) (0.011)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	1 (1) (0)	0.013 (0.011) (0.002)
合 計	7	0.077

期中の平均基準価額は、9,976円です。

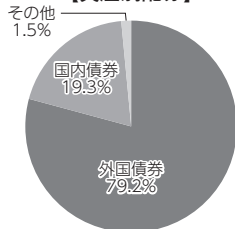
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照
ください。

【組入上位10銘柄】

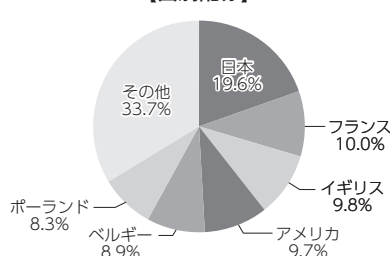
銘 柄 名	国	組 入 比 率
1 第10回利付国債(30年)	日本	15.2%
2 BGB 0.8% 06/22/25	ベルギー	8.8
3 T 1% 11/30/19	アメリカ	8.2
4 FRTR 0.5% 05/25/25	フランス	8.1
5 UKT 2% 07/22/20	イギリス	5.1
6 SPGB 1.6% 04/30/25	スペイン	4.9
7 PHILIP 4% 01/15/21	フィリピン	4.7
8 UKT 2% 09/07/25	イギリス	4.5
9 BTPS 3.75% 09/01/24	イタリア	4.4
10 第9回利付国債(30年)	日本	4.2
組入銘柄数	30銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

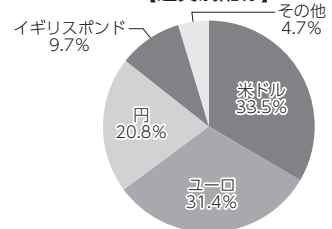
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



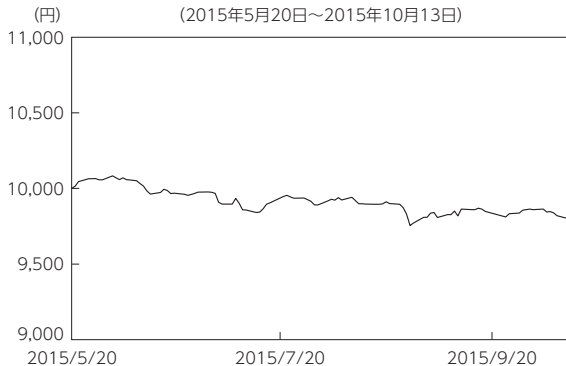
(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年9月17日現在のものです。

(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

FOFs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したのものとして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2015年5月20日～2015年10月13日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	8 (6) (0) (1)	0.078 (0.061) (0.004) (0.013)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	1 (1) (0)	0.015 (0.013) (0.002)
合 計	9	0.093

期中の平均基準価額は、9,918円です。

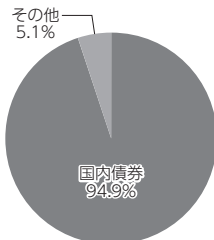
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

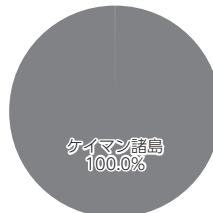
銘 柄 名	国	組 入 比 率
1 SIGNUM DIVERSIFIED	ケイマン諸島	94.9%
2 -	-	-
3 -	-	-
4 -	-	-
5 -	-	-
6 -	-	-
7 -	-	-
8 -	-	-
9 -	-	-
10 -	-	-
組入銘柄数	1銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

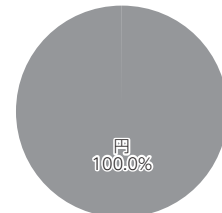
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



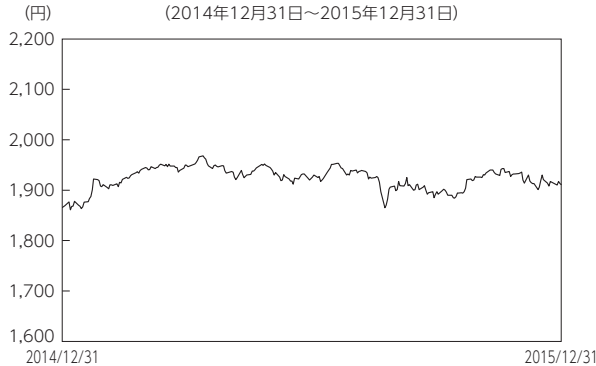
(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年10月13日現在のものです。

(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

Global Absolute Return Strategies Fund-Class D^{A.H.JPY}

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

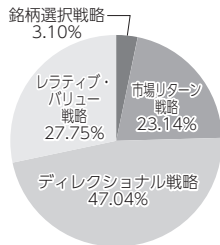
(2014年12月31日～2015年12月31日)
当該情報が取得できないため記載しておりません。

【組入上位10銘柄】

	銘柄名	種類	比率
1	Standard Life Investments European Equity Income Fund	Mutual Fund	2.26%
2	MEXICO ST 6.5% 10/06/21	Treasury Bond	1.33
3	MEXICO ST 7.5% 03/06/27	Government Bond	1.33
4	MEXICO ST 8.5% 31/05/29	Government Bond	1.32
5	MEXICO ST 10% 05/12/24	Treasury Bond	1.32
6	TULL PRE SEC 14/01/16	Certificates of Deposit	0.87
7	FRANCE 0% 24/02/16	Treasury Bill	0.76
8	GERMAN 0% 10/02/16	Treasury Bill	0.76
9	RP CAP MAR 26/02/16	Commercial Paper	0.76
10	CITIBANK LONDON 21/03/16	Commercial Paper	0.76
組入銘柄数		1,526銘柄	

※比率は組入有価証券合計に対する比率です。

【運用戦略別リスク配分】



銘柄選択戦略	個別銘柄選択によって、収益獲得を目指す戦略
市場リターン戦略	株式、社債等の資産を対象とし、市場の上昇による収益獲得を目指す戦略
ディレクショナル戦略	金利や為替等の市場を対象とし、市場の特定の方向性に着目した「買い」や「売り」を行うことで収益獲得を目指す戦略
レラティブ・バリュウ戦略	関連する市場・資産間の割安・割高を判断し、「買い」と「売り」を組み合わせ、収益獲得を目指す戦略

※短期金融資産等により、合計が100%にならないことがあります。

(注) 組入上位10銘柄、運用戦略別リスク配分のデータは2015年12月31日現在のものです。

※組入上位10銘柄、運用戦略別リスク配分のデータは実質投資先であるGlobal Absolute Return Strategies Fund全体の内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

当指数は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。